

四国酒まつり 4県41銘柄飲み比べ

四国4県の地酒を飲み比べられる恒例の「四国酒まつり」(実行委主催)が20日、三好市で開かれます。日本酒人気の高まりとともに参加者も増え、名物イベントに成長しました。



「四国酒まつり」で試飲を楽しむ来場者＝2015年2月、三好市池田町マチ

Q どんなイベントですか。

A 徳島県内14銘柄を含む四国4県の地酒41銘柄を飲み比べる「試飲会」が行われます。地元にある三つの蔵元の酒蔵も開放され、酒造りの工程を見学し、搾りたての新酒を味わうことができます。今年の試飲会には、県立工業技術センターが紫外線LEDを使って開発した新酵母「LED夢酵母」を用いた酒が初登場します。

Q いつから行われていますか。

A 2000年にスタートし、今回で17回目を迎えます。当初は「地酒でめぐる西日本中央連携軸」との名称でしたが、04年に「四国酒まつり」

に変わりました。

Q なぜ三好市が会場なのですか。

A 三好市は盆地特有の気候により、冬場の冷え込みが厳しい土地です。寒さが日本酒の仕込みに適していることに加え、吉野川の清水を生かして、酒どころとして有名になりました。特産の酒を通じて地域の魅力や情報を発信し、活性化することが目的です。

Q 多くのファンが訪れるようですね。

A 毎年、規模が拡大しています。試飲会の参加者は、00年は約200人でしたが、15年には15倍の約3000人に増えました。イベントは多彩で、銘柄を当てる「利き酒大会」をはじめ、地酒をベースに各

県の特産品を取り入れた「地カクテル」の人気を競う「地カクテルバトルロイヤル」などもあります。会場周辺の商店街などでも協賛イベントとして▷雑貨や軽食を扱う「うだつマルシェ」▷地元グルメの販売▷刻みたばこ・たばこ踊りの実演▷三好長慶武者行列一などが行われ、去年は約2万人でにぎわいました。夜には地酒と郷土料理に舌鼓を打つ「四国酒まつりの夕べ」も催されます。

Q 誰でも参加できますか。

A 試飲会前売り券(1600円)はセブン-イレブンやJR四国各駅で販売。会場当日券(1800円)も購入できます。酒蔵巡りや協賛イベントの中には、無料で参加できるものも。お酒を味わうイベントなので公共交通機関を利用し来場するのがお勧めです。